

教科
国語

種目
国語

発行者
2 東書

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「国語の学習の進め方」や「言葉の力」が領域ごとに整理されている。また、「読むこと」では、最初に「言葉の力」「覚えているかな」が1ページで示されており、見通しや系統性を捉えやすい配慮がよくなされている。単元の最後には、「言葉の力」「ふり返る」があり、児童が何を、どのように学んだのかを自覚できるよう配慮されている。 ・ 既習漢字を学習するコーナーでは、短文形式を用いて、言葉や熟語の意味、使い分けまで理解しているかを確認できるよう配慮されている。 ・ 図表やグラフなどを用いて書く能力を高めるために、まずは、図表の働きや役割を学習し、その上で、5年生ではグラフから事実を読み取ることを学び、6年生ではそれらを意見文に活用する構成になっている。 ・ 身に付けさせたい力に即した言語活動が、各学年の発達の段階を踏まえて設定されている。また、自分の考えを持てるよう、考えるためのヒントが様々な視点から位置付けられている。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと、和の文化、町の未来など学年の発達の段階に合わせてテーマが設定されている。これらを読む・聞く、書く、読むの各領域の学習を通して学ぶことができるよう十分配慮されている。 ・ 3年生以上に二次元コードが位置付けられている。漢字の練習が一画面に1問ずつ掲載されており、児童が活用しやすいように考えられている。また、問題が多いので家庭学習に向いている。 ・ 2年生から6年生までの各学年及び付録に配置されている。4年生「世界一美しいぼくの村」では、作品の終わり方に着目し、平和について考えるよう配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年生までは上下巻の分冊で構成。5年生及び6年生は1冊にまとめられており、重量はそれぞれ500g程度である。 ・ 分かち書きと文節ごとの改行を2年生の最後まで行っている。また、これにより3年生への接続に配慮している。 ・ 「言葉の力」「生かそう」などがマークとして位置付けている。「生かそう」は、発展的な学習への導きが視覚的に示されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的な学びを具現するために、国語学習の進め方が冒頭に示されている。また、各単元の学習においても身に付けるべき資質・能力を既習事項との関連も明らかにして示すなど、系統的な学びができるよう配慮されている。さらに、言葉による見方・考え方を働かせるために、自分の考えを持つためのヒントが様々な視点から位置付けられている点に特徴がある。

教科
国語

種目
国語

発行者
11 学園

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「国語の学習の進め方」が簡潔にまとめられており、「つかむ」「見方や考え方を学ぶ」「まとめる・ふり返る」「広げる」という学習の流れが示してある。また、単元の最後には、学習を振り返るために「国語のカギ」や振り返りの視点が位置付けられている。 ・ 言語に関わる教材や既習の漢字、新出漢字を学習するコーナーが多く位置付いている。新出漢字を学習するコーナーは一部の新出漢字のみを扱っている。 ・ 図表やグラフを用いて書く能力を高めるために、6年生で「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の複合型の単元を仕組み、2つの言語活動を設定している。また、言語活動に必要な資料が観点を明らかにした上で多様に用意されるなどよく配慮されている。 ・ 感想の交流や筆者の主張について自分の考えを発表する活動を中心にした言語活動が位置付いている。文章全体を見通すために必要な視点が定められており、読み深めるための一助となっている。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化の違いを調べる、日本の魅力を再発見するなどグローバルなテーマになっている。いずれも、書く活動を通して郷土への関心を高めていけるよう配慮されている。 ・ 多くは読むこと領域に二次元コードが位置付けられている。それらは教材文に関連した外部リンクに繋がっており、教材文の補助資料として活用することができる。 ・ 3、4、6年生及び付録に配置されており、読書活動と関連させた提示が多い。4年生「ボレボレ」は、他国から来た同年代の主人公を登場させ、児童にじっくり読ませた上で、異文化共生への理解を図り、自分の考えが持てるようよく配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての学年が分冊で構成。5年生及び6年生の重量は、上下巻ともに、それぞれ300g程度である。 ・ 分ち書きを2年生前半まで行っており、文節ごとの改行は、1年生後半までとなっている。 ・ 「国語のカギ」がマークとして位置付いており、学習のポイントや読み深めるための視点について、教材に触れつつまとめてある。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に学ぶことができるよう国語学習の進め方が冒頭に示されている。また、各単元の学習においては、はじめに自分の考えを広げたり深めたりする視点が示され、おわりには、学習を振り返る視点が位置付けられるなど、深い学びを意図した配慮がある。さらに、言葉がもつよさを認識させる、「読むこと」の教材が多く位置付けられている点に特徴がある。

教科
国語

種目
国語

発行者
17 教出

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に、該当学年で学ぶ内容が図式化して示されている。また、「読むこと」の単元の冒頭に教材の内容面への関心を高める言葉があり、教材の最後には、「確かめよう」「考えよう」「深めよう」「広げよう」の学習過程が示され、児童も教師も学習の見通しを持ちやすくなっている。最後には、学習を振り返るために「ここが大事」「ふり返ろう」が位置付けられている。 ・ 言葉の使い方に関わる教材を、実生活における場面や対象、用法例を挙げながら説明しており、児童の理解をよく促す工夫がある。また、学習内容が十分定着するよう練習問題も豊富にある。 ・ 図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書く能力を高める配慮がされている。5年生で「読むこと」と「書くこと」の複合型の単元を設定して、考えを作るための根拠となる資料を多様に示しながら、児童が意見文を書く構成になっている。 ・ 各単元に設定された言語活動の学習過程が分かりやすく示されており、児童も教師も見通しを立てて学習に臨むことができる。また、具体的な話し合いも提示されている。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生と5年生において、町の行事や町じまんなど、地域に根差したテーマが設定されている。また、話す・聞く活動から書く活動へとつなぐ複合型単元が仕組まれている。 ・ 目次の後に二次元コードが位置付けられており、ここから各単元の補助資料や作者の紹介ページへ誘っている。また、教材に関する外部サイトにもアクセスできるよう配慮されている。 ・ 3、4、6年生及び付録に配置。6年生「子どもたちを救いたい」には、平和のために活躍した人物の功績が記されている。資料を読むことで平和や異国の状況が理解できるよう配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての学年が分冊で構成。5年生及び6年生の重量は、上下巻ともに、それぞれ300g程度である。 ・ 分かち書きを2年生前半まで行っており、文節ごとの改行を1年生の最後まで行っている。 ・ 「ここが大事」がマークとして位置付いており、学習のポイントや他教材でも活用できる汎用性のある内容がまとめている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に学ぶことができるよう、各単元の冒頭で児童の関心を高める言葉がある。また、学習過程が示されることにより、児童も教師も学習の見通しを持ちやすくなっている。さらに、言語の特徴や使い方に関する指導では、児童の言語能力を高めるために、各学年の発達の段階に応じた実生活における場面を具体的に設定して学習活動を仕組んでいる点に特徴がある。

教科
国語

種目
国語

発行者
38 光村

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、「国語の学びを見わたそう」や領域ごとに下学年の学習過程を示している。また、「読むこと」では、冒頭に教材への関心を高める文や「これまでの学習」が示されており、児童が系統性を踏まえた上で、学習の見通しを持つことができる配慮がよくされている。さらに、単元の最後にある「ふりかえろう」では、「知る」「(領域名)」「つなぐ」の3点が示してあり、3つの資質・能力を確実に身に付けさせる意図的な工夫がある。 ・言語に関わる教材で学んだことを実生活につなぐため、「いかそう」という項目を設定している。5年生「敬語」の学習では、児童に身近な丁寧語の説明から行うなど、よく配慮されている。 ・図表やグラフを用いて書く能力を高めるために、「読むこと」と「書くこと」の複合型の単元を設定し、図表やグラフの効果を体感しつつ文章を書く学習活動としている。脚注で図表と文字との関連を示すなど、付けたい力が身に付くようよく配慮されている。 ・単元で身に付けたい力に即した言語活動が設定され、学習内容を重点化したリード文を示しており、目的的な読みが可能である。また、具体的な対話例や単元の目標を適切に踏まえた関連図書の紹介があり、主体的な学びが具現するようよく配慮されている。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土を意識した教材が4年生以上に2単元ずつ設定されている。「読むこと」の教材で郷土の魅力を味わった上で、日本の伝統や文化について主体的に学ぶようよく配慮されている。 ・「話すこと・聞くこと」においては、音声付きの動画が掲載され、児童が視聴することにより、モデルとすることができる配慮がなされるなど、学習活動に十分役立つコンテンツが揃っている。 ・4年生から6年生までの各学年及び付録に配置。4年生「ランドセルは海をこえて」は、戦争のある国の子供たちの現状等が綴られ、最後の一文を踏まえて、児童に平和を考えさせる工夫がある。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生までは上下巻の分冊で構成。5年生及び6年生は1冊にまとめられており、重量はそれぞれ500g程度である。 ・分かち書きと文節ごとの改行を、2年生前半まで行っている。これにより、2年生の後半は、文章に読み慣れさせた上で、3年生への円滑な接続ができるようよく配慮されている。 ・「たいせつ」「いかそう」などがマークとして位置付いており、基礎的、発展的な内容についての視覚的配慮がよくされている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の冒頭には、身に付けさせたい資質・能力が示され、それらを身に付けるのに適した言語活動が具体的に設定されている。 ・また、主体的で対話的な学びを具現するために、単元の学習過程や具体的な対話例が示されるなど、児童も教師も単元の学習を見通せるようよく配慮されている。さらに、ICTを活用した学習コンテンツでは、「話すこと・聞くこと」の学習に有効な動画が多く位置付けられている点に特徴がある。

教 科
国 語

種 目
書 写

発行者
2 東書

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・「書写のかぎ」でポイントが箇条書きでまとめてある。毛筆の穂先の向きをイラストで示し、書き方のポイントが分かる。 ・1、2年生で漢字の成り立ち、5年生で世界の文字、6年生で日本の文字の歴史など、言葉の知識を広げる内容を設けている。 ・「防災マップ」「伝統産業に従事する人へのインタビュー」「被災地」を紹介する写真資料などを3年生以上で取り上げている。 ・1年生では、平仮名の点画の始筆から送筆、終筆までを確実に書くことができるよう、それぞれにマークを付し、文字の形を形成する過程を意識することができるようによく配慮されている。 ・毛筆が始まる3年生では、書写の指導内容が系統的に構成されており、筆使いの導入では、線を書くことから始めて筆圧や穂先の向きへと、習熟の過程を踏まえた適切な配慮がなされている。 ・4年生の初めて、3年生で学習した筆圧、点画の種類、書き方などの確認がなされている。 ・まず、普段書く文字から本時の課題を見つけ、試し書きをし、本時身に付けたい知識及び技能について練習をする。次に、身に付けた知識及び技能を他の文字に生かしたり、話し合ったりして、児童が主体的・対話的に学習を進める構成となっている。また、生活や他教科の学びへつなぐコーナーもある。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の使い方が丁寧に説明されている。筆先の向きをイラストで示し、二色の墨汁で示すなど、毛筆入門期の児童にポイントを分かりやすく説明した内容の動画が十分用意されている。 ・実生活等へ結び付ける活動は「生活に広げよう」「学びを生かそう」と題して、「はがき・手紙の書き方」「リーフレット」「ポスター」「展覧会」などを取り上げ、各学年の発達の段階によく配慮して設定してある。 ・水書用紙は桃色で1、2年生に添付されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の大きさはA B版である。 ・左利きの鉛筆の持ち方や毛筆用具の置き方の掲載、書き込み欄を教材文字の下や左右両側に配置する等、利き手への対応がよく配慮されている。 ・「書写のかぎ」のマークで、全学年を通した観点でポイントを示し、巻末には当該学年までの「書写のかぎ」をまとめた欄を設け、学習内容を適切に確かめることができる。 ・当該学年で学習した漢字の一覧表は、全学年で読み方が示されている。巻末にある1、2年生の平仮名の表では、点画の書き方で色分けしてあり、適切に学習に生かすことができる。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年に「書写のかぎ」が示され、教科書やICT教材で2色の墨を使って穂先の動きが表示されるなど、児童が視覚的に理解して課題に取り組むことができる。また、1年生では、文字の形を形成する過程を意識することができるように配慮され、毛筆が始まる3年生では、筆圧や穂先の向きなどの指導事項が順を追って示され、4年生の初めて、3年生での学習内容の確認がなされるなど、各学年の発達の段階に応じた系統的な構成となっている。

教科
国語

種目
書写

発行者
11 学図

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・「書き方のカギ」の欄には、図や写真が豊富に示され、書き方のポイントが意識しやすいようよく配慮されている。 ・2年生で漢字の成り立ち、3年生で平仮名の成り立ち、5年生で片仮名の成り立ちなど、文字への興味を高める内容がある。 ・「防災の看板」「ペットボトルキャップでボランティア」など、現代的な課題を全学年で取り上げている。 ・初めて文字を書く1年生に対して、身近な風景の中の線を書くことで、文字を書く前の興味関心を高めている。平仮名の筆順やマスの中の文字の位置に配慮した学習過程となっている。 ・毛筆が始まる3年生では、筆の持ち方や筆圧について知った後、教材文字の筆使いのポイントを確かめながら、練習できる配慮がなされている。 ・4年生の初めでは、3年生で学習した硬筆と毛筆の内容について、確認できるように配慮されている。 ・本時身に付けたい知識及び技能について、児童が主体的に取り組む進め方である。まず、本時の課題を確かめて試し書きをし、次に個人で、また仲間と「書き方のカギ」を考える。そして、課題を練習し、まとめ書きをする。さらに、身に付けた知識及び技能を生かし硬筆で練習をし、最後に振り返ってまとめる構成である。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の使い方として筆の下ろし方から動画で説明があり、自分が書いた文字を手本と重ねて字形を確かめるアプリがあるなど、児童が進んで学習することを促す内容が含まれている。 ・学年に応じて「観察カード」「掲示物・ポスター」を書くなどの活動が設定されている。また、全学年巻末に「書写の資料館」と題して、実生活等へ結び付ける「はがき」や「手紙」の書き方などが位置付けられている。 ・水書用紙には対応していない。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のサイズはB5版である。 ・硬筆の教材文字と書き込み欄については、教材文字が上で書き込み欄が下に配置され、利き手を問わず教材文字を隠さずに練習できるように配慮されている。 ・「書き方のカギ」のマークで、書き方のポイントが各所に示されている。また、1、2年生には「書き方のカギ」シールがあり、児童が大事なポイントを意識できるように配慮されている。 ・当該学年で学習する漢字を、1、2年生では、とめ・はね・はらいなど点画の特徴によって分類し、一覧にしてある。全学年に、平仮名と片仮名の表が掲載されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達の段階や児童の興味関心、実生活における必然性を考慮した構成となっている。また、全学年で「書き方のカギ」が示されており、硬筆や毛筆の書き方のポイントがよく分かるように図や写真で示されているので、児童が課題意識をもって主体的に練習したり、振り返ったりすることができるようになっている。当該学年で学習する漢字が、1、2年生では、とめ、はね、はらいなどの点画の特徴によって分類された表で掲載されている。

教科
国語

種目
書写

発行者
17 教出

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 点画の特徴が文字の中に朱書きで示されよく分かる。毛筆では、穂先の通里道の説明が充実し、筆使いを適切に身に付けられる。 1、2年生で漢字の成り立ち、5年生で平仮名の成り立ち、6年生で日本の文字の歴史等、文字への興味を高める内容がある。 「世界の『こんにちは』」「ぼうさいかるたを作る」など、現代的な課題を取り上げた教材が全学年で掲載されている。 1年生では、自由な運筆線を書くことで、文字を書くウォーミングアップが行えるように配慮されている。平仮名の学習に入ると、文字を指でなぞることで、書き方のイメージ化を促している。 毛筆が始まる3年生では、始めに長い線を書き、穂の柔らかさを確かめることで、筆の運び方や筆圧について分かるように配慮されている。 4年生の初めでは、3年生で学習した筆圧、点画の種類、書き方などの確認がなされている。 児童は、まず学習のめあてを確かめ、始めに試し書きをしてから課題を見つけ、主体的に練習に取り組む。次に、まとめ書きをした後、さらに、他の文字でも身に付けた知識及び技能を生かして書き、それらを児童が互いに見合ったり振り返ったりして、よさや課題を伝え合う構成となっている。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の基本点画のはらいやはねなどについて、音声付きの動画で筆圧の説明がなされている。その他の文字については、書き順や字形が分かる動画となっている。 「レッツ・トライ」と題して「はがき・手紙」「横書きノート」「縦書きノート」「発表メモ」「かるた」「原稿用紙の使い方」「ポスター」「話し合いメモ」ど、各学年の発達の段階に合わせて実生活等へ結び付ける活動が多様に設けられている。 水書用紙は薄緑色で1年生に添付されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書のサイズはB5版である。 見開き完結型の紙面構成となっており、毛筆では、右のページで文字を見て半紙に対する文字の位置をイメージすることができ、左のページでポイントが確認できるようになっている。 「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の3つのマークで学習過程に沿ったポイントを示している。また、巻末の「学習のまとめ」で、当該学年の学習内容を適切に確かめることができる。 片仮名の表で、1文字ずつ関係するイラストを載せ、片仮名の習得に生かすことができる。4年生までは、平仮名と片仮名の表が、5、6年生では平仮名の表が掲載されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的・対話的に学習を進めるために、自らの普段の文字と手本とを比較して課題を考え、練習し、児童相互で振り返ることで、学びを確かめることができる構成となっている。また、見開きで紙面構成されており、児童が自分でポイントを確かめたり、単位時間を振り返ったりする点への配慮がある。さらに、現代的な課題が各学年に設けられたり、実生活と結び付ける活動が設定されたりするなど、日常の書字場面に生かすことへの配慮がある。

教科
国語

種目
書写

発行者
38 光村

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1、2年生では、手本の大切な部分を朱書きし、3年生以上では穂先の向きをイラストで示すなど、説明が充実している。 ・ 全学年に「漢字図かん」を設け、漢字の成り立ちをイラスト付きで示すなど、言語文化への興味関心を十分に高めている。 ・ 「アイヌの豊かな文化」「東日本大震災」「バリアフリー」など、現代的な課題を十分に取り上げている。 ・ 1年生では、鉛筆の持ち方や手の動かし方が分かる体感的な学習過程である。線の書き方を平仮名の書き方へつなげ、系統的に書き順などの知識及び技能を習得できるようよく配慮されている。 ・ 運筆する能力向上のために、点画の書き方については各学年に繰り返し位置付けられている。3年生の初めには、毛筆の筆使いにおける点画の書き方について、指導の配慮が適切になされている。 ・ 4年生では、点画の種類の確認後、漢字の組み立てをつかみ、字形を捉えるという系統的な学習が適切に位置付けられている。 ・ 単位時間の学習過程が、運筆や字形について考え、実際に書いて確かめ、学んだことを生かすという三段階で明示されている。また、単位時間の学びを振り返る欄も位置付けられており、互いのよさや課題を主体的・対話的に確認し合うことができるよう、十分な配慮がなされている。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定) に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用具の準備や学習姿勢、文字の書き方について、音声だけでなく視覚的に理解を助ける字幕や矢印などが付け加えられた動画があり、適切な説明がなされている。 ・ 実生活等へ結び付ける活動では「国語」「せいかつ」「社会」等と表記し、「手紙の書き方」「横書き・縦書き」「新聞」「式次第」等を取り上げ、学年の発達段階についてよく配慮されている。6年生では全学年のまとめ「書写ブック」が綴じ込まれている。 ・ 水書用紙は灰色で1年生に添付されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書のサイズはB5版である。 ・ 情報を精選し、いちばん大切なことがひと目で分かるよう大きく掲載され、その他の事例は小さく書くなど、情報の軽重が分かるようよく配慮されている。 ・ 5、6年生で平仮名と片仮名の筆使いの一覧表が掲載されている。平仮名については、元となった漢字からの変遷も掲載されており、字形や書き順を学習するのに適切である。 ・ 平仮名の手本が1、2年生の裏表紙にも掲載されており、教科書を開くことなく、すぐに手本を見て字の形を確かめることができる。1年生から毛筆体の手本が掲載されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年の発達の段階に応じ、現代的課題、実生活へ結ぶ活動などについて十分に配慮した内容・構成となっている。また、筆使いや点画の書き方などについては、体感的に学べるつくりになっており、線の書き方と平仮名の書き方のつながり等の知識及び技能が確実に身に付くようよく配慮されている。さらに、文字への興味関心を高めるために、全学年に「漢字図かん」が位置付けられるなど、主体的・対話的で深い学びを意図した工夫がみられる。

教科
国語

種目
書写

発行者
116 日文

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるよ うになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学 ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生では矢印や線で点画の特徴を示し、3年生では毛筆の穂先の向きをイラストで示すなど、書き方のポイントが分かる。 ・ 5年生で平仮名の基になった漢字、6年生で平仮名と片仮名の成り立ちなど、文字への興味を高める内容がある。 ・ 「防災意識を高めよう」「地球はなぜ熱くなるか」など、現代的な課題を取り上げた教材が2年生以上で掲載されている。 ・ 初めて文字を書く1年生に対して、学びの定着を図るために、まず、文字を指でなぞり、点画の書き方を学び、他の文字を鉛筆で書く、という学習過程が設定されている。 ・ 毛筆が始まる3年生では、書写の指導事項が段階的、系統的に構成されている。また、毛筆の学習においても、字形を整えるという点について配慮されている。 ・ 4年生の初めには、「点画の組み立て方」の振り返りがなされ、「字形を整える」学習につながるように配慮されている。 ・ 学習の段階が児童に分かるように示されている。始めに「試し書き」をして自らの課題を持ち、次に、課題解決のための方法を「考え」、確かめながら「練習」をし、最後に「まとめ書き」をする。さらに硬筆でも「生かして」書き、「できたかな」で学習を振り返るという進め方となっている。
2 岐阜県教育振 興基本計画(平成 31年3月策定)に 示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字を書くときの姿勢や、用具の使い方、後片付けの仕方について動画で説明されている。墨をするときの持ち方について、二種類の方法が収録されている。 ・ 実生活等へ結び付ける活動は「生活と書写」「国語の広場」と題し、「手紙の書き方」「原稿用紙の書き方」「掲示物・ポスター・新聞」「思い出五・七・五」などを取り上げ、各学年の発達の段階に配慮した設定となっている。 ・ 水書用紙は灰色で1、2年生に添付されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書のサイズはB5版である。 ・ 教科書への書き込み欄を手本となる教材文字の下に配置することで、右利きでも左利きでも、手本を確認しながら視写できるように配慮されている。 ・ 「考える」「確かめる」「いかす」の3つのマークで学習過程に沿ったポイントが示されている。また、巻末の「まとめ」で、当該学年の学習内容を確認することができる。 ・ 1年生の平仮名と片仮名の表では書き順が青、点画の特徴が赤で示されている。また、3年生以上では当該学年の配当漢字が硬筆・毛筆で掲載される等、技能の定着が十分配慮されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年の発達の段階に合わせ、「字形の整え方」「部分の組み立て方」など、系統的に技能を高めていくことができるよう構成されている。単位時間では、試し書きから課題を見つけ、課題解決のために考えたり練習したりした後にまとめ書きをし、他の文字や筆記用具で生かし、最後に振り返るという学習過程が全学年で共通している。3年生以上では、当該学年の配当漢字が硬筆と毛筆の両方で掲載され、実生活での書字能力向上に配慮している。

教 科
社 会

種 目
社 会

発行社
2 東書

調 査 項 目	着 眼 点
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元において、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階が位置付き、社会的な見方・考え方を働かせることができる「問い」を生かしながら、問題解決的な学習を進めることで、資質・能力がバランスよく高められるようによく工夫されている。 ・巻頭で前学年、巻末で該当学年の学習内容が掲載され、随所に他教科の単元名も明記されているなど、学年間の系統性を重視し、他教科と横断的に学習を進められるようによく配慮されている。 ・児童同士の対話的な学習や、見学を通して様々な人々から話を聞き取る主体的な学習が多様に位置付けられており、それらを駆使して、多角的に考えたり、学びを深めたりすることができるようによく工夫されている。
2 岐阜県教育振興 基本計画(平成31年3 月策定)に示された 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生では海津市、6年生では木曾三川の治水を扱うなど、岐阜県の事例がよく取り上げられ、児童がふるさとに誇りと愛着がもてるようによく配慮されている。 ・学習への興味・関心を高めることができるコンテンツが各単元にあるなど、一人でも学習に取り組み、興味・関心を高められるようによく工夫されている。 ・選択教材や柔軟な扱いが可能な「ひろば」を設け、児童や学校、地域の実態に合わせて、様々な教育課程の編成に対応できるようによく工夫されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に合わせて、ページ数や重量が考慮され、高学年は上巻、下巻と別冊になっているなど、児童の身体への負担軽減の点によく配慮されている。 ・色覚等の特性をふまえ、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、「ユニバーサルデザインフォント」が取り入れられるなど、全ての児童にとって学びやすいようによく工夫されている。 ・各学年の学習の巻頭で、前学年の既習事項や当該学年の学習内容が掲載されるなど、学んだことを生かしながら、学習を進められるように便宜が図られている。
4 総 評	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会的な見方・考え方」を働かせた問題解決的な学習や、主体的・対話的で学びを深める学習が重視され、社会参画にかかわる資質・能力の育成できるよう、よく配慮されている。 ・問題解決に効果的な資料や活動が掲載されているなど、主体的に学習に臨むとともに、考えたことを伝えるための工夫がされており、岐阜地区の児童の実態によく合った内容となっている。

教科
社会

種目
社会

発行社
17 教出

調査項目	着 眼 点
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページに「問い」と「次につなげよう」を提示し、問題解決に活用すべき知識や概念は「キーワード」として明示し、重視すべき学習技能は「学びのてびき」として配置され、その活用を通して社会的な見方・考え方を働かせた学びができるようによく工夫されている。 ・生活科との接続や連携に生かせる特設ページや学年相互間の関連性と追究過程を意識化した巻頭巻末により、学習技能や社会的な見方・考え方を使った学習を意識して進めることができるようによく配慮されている。 ・各単元の終末に、自分なりの考えを表現し合う「まとめる」場面では、多様な活動が例示されており、主体的に学習を振り返り、定着と対話で深い学びにつながるようによく工夫されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の「国土の気候」の事例において、「白川郷」を扱うなど、各学年で県内の資料が取り上げられ、児童のふるさとへの興味・関心が高まるように配慮されている。 ・「学びリンク」を随所に位置付け、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ること、児童が問題解決に取り組むことができるようによく工夫されている。 ・「せんたく」や「ひろげる」という教材を複数取り入れるなど、児童や学校、地域の実態に応じて柔軟に学習ができるようによく工夫されている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文用紙をさらに軽量化し、各学年1冊、全学年計4冊の分冊にすることで、年間を通した柔軟な活用ができるようによく配慮されている。 ・「ユニバーサルデザインフォント」や、色覚の個人差に配慮した「カラーユニバーサルデザイン」に基づく配色の図表・地図を使用するなど、多くの児童に読みやすくなるようによく工夫されている。 ・各学年の巻頭に社会的な見方・考え方を働かせた学習や、単元の学習展開を見通す「モデル図」が掲載されるなど、見通しをもって主体的に学ぶことができるようによく配慮されている。
<p>4 総 評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを促す「問い」から展開していく学習の流れとともに、学年相互間の関連性と追究過程が重視され、社会的な見方・考え方が育成できるよう配慮されている。 ・他者との対話や協働的な学びを進める過程で、社会科の資質・能力が身に付くよう工夫がされ、岐阜地区の児童の実態に合った内容となっている。

教 科
社 会

種 目
社 会

発行社
116 日文

調 査 項 目	着 眼 点
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「重要語句」「学び方コーナー」を位置付けて、習得させたい知識・技能を明示するとともに、児童に捉えさせたい見方・考え方を「空間」「時間」「関係」のマークで示し、社会的な見方・考え方を働かせた問題解決的な学習が行えるように工夫されている。 ・巻頭に前学年との学習内容のつながり、また6年生では中学校とのつながりを示し、系統性・発展性に配慮されている。 ・学習の見通しをもつことができるように、学習計画を設定するなど、主体的に問題解決的な学習に取り組めるようにしたり、様々な交流場面を設定し、対話的で深い学びを行ったりできるように工夫されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生では「日本の国土と人々の暮らし」において、海津市を扱い、県内の事例や資料を取り上げるなど、児童がふるさとへの愛着がもてるようによく配慮されている。 ・デジタルマークを位置付け、学習内容に関わる動画や画像の資料を整備し、ICTを活用して、学習を効果的に進められるように工夫されている。 ・各小単元の終末部分に「さらに考えさせたい問題」を提示し、学習問題の質的な広がりや深まりが得られるように工夫されている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文用紙に十分な強度を有する軽量化した再生紙を使用し、児童が取り扱いやすい重量になるように配慮されている。 ・当該学年以上の配当漢字にはすべて振り仮名を付けたり、読みやすさを重視して独自に開発された教科書体を使用したりするなど、工夫されている。 ・全学年の目次において、各単元で調べ考える内容を示し、見通しをもって学習を進めることができるように便宜が図られている。
<p>4 総 評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題意識の連続性・発展性を大切にした主体的な学習や、様々な交流場面の設定による対話的な学びが重視され、自ら学びに向かう力が育成できるよう、配慮されている。 ・様々な交流場面を設定することで、他者との対話や、協働的な学びを引き出す工夫がされ、岐阜地区の児童の実態に合った内容となっている。

教科
地図

種目
地図

発行社
2 東書

調査項目	意見
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号、索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用、地球儀の見方といった基本的な地図の読み方を、絵地図やイラストを用いて表現する等、地図に関する基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図ることができるよう、配慮されている。 ・学習指導要領解説に例示された時代区分に合わせた世界の歴史地図等を、年表と関連させながら6ページにわたり掲載し、歴史学習での活用が充実するよう、よく工夫されている。 ・主題図は、地図点数を精選して大きく示して読み取りやすくなっており、空間的な広がりや事象と人々との相互関係について主体的に考えることができるよう、工夫されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画 (平成31年3月策定) に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産の白川郷や北アルプスの自然の様子が写真で示されたり、地図上に、岐阜県の市町村、産業や特産物のイラストが多数位置付けてあったりする等、岐阜県に関する資料等が多数掲載されている。 ・インターネットで学習できる場所がマークで示されており、知識や興味・関心を高める独自の教材の提供がされている。また、学習リンク集では、多数の公的機関を紹介するなどICTの活用について配慮されている。 ・日本にある世界自然遺産、世界文化遺産のすべての写真、世界の食事や生活についての写真が多数掲載されている。また、気候、貿易、工業生産、日本の自然災害と防災等の学習に関連した図や表が充実しており、資料を活用した多様な学びができるよう、よく工夫されている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間使用できるように、丈夫で、かつ中央まで十分に開いても紙面が見やすい製本の工夫がされている。 ・濃い着色で、海底部の青色、都市部の黄色、平地の緑色から高地の茶色までメリハリのある色調で紙面構成がされていたり、ユニバーサルデザインの書体を使用したりする等、見やすくなるよう、配慮されている。 ・見開きの左ページに、地図の説明のインデックスを付け、目的の地図を探しやすくしたり、索引にチェック欄を設けて場所を見つけやすくしたりする等、配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日的な教育に対応するとともに、地図への関心・意欲を高め、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得ができるよう工夫されている。 ・資料を活用して主体的・対話的に取り組み、根拠をもって考えを表現する力が身に付くよう配慮がされており、岐阜地区の児童の実態に合った内容となっている。

教科
地図

種目
地図

発行社
46 帝国

調査項目	意見
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書等で取り扱う地域の地図を重点的に拡大・再編集してあり、地図の成り立ちや方位・地図記号・縮尺、地図帳の使用法等、基礎的・基本的な知識・概念や技能習得を図ることができるよう、よく工夫されている。 ・6年生の歴史学習での活用を意図し、歴史的事象が起こった日本国内の場所を、年表と関連させて2ページにわたって記載し、学習内容の理解が進むよう、工夫されている。 ・「地図マスターへの道」コーナーを設置し、学年に応じて進んで学習テーマを設定し学び進めることができるような問いかけを準備する等、児童の主体的な学びを喚起するための工夫がよくされている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県南部や愛知県の拡大地図には、記号による産業区分が示され、県内の産業の様子が分かるようになっている。岐阜県に関する資料については、中部地方のページに濃尾平野の輪中に関する資料が掲載されている。 ・主たるページごとに二次元バーコードが設置されており、タブレット等で関連資料（地図クイズ、地図の約束事、地形図、白地図、動画、統計資料等）を読み込むことができる。ICTの有効活用によって学習が広がるよう、よく配慮されている。 ・各種グラフや数値データ、関連資料が充実しており、児童が必要な資料を選んで調査・考察することができるよう工夫されている。また、自然の様子、日本の自然災害と防災、日本の産業の様子等、重要な資料については、頁を割いてより丁寧に示し、資料を活用した多様な学びができるよう、よく工夫されている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間の使用に耐える丈夫で手触りのよいも表紙を使い、かつ繰り返しの使用に耐えうる丈夫な製本がしてある。頁数は多いが軽量化する工夫がされるなど、よく配慮されている。 ・明るい着色で、土地の高低差が一目でよくわかるようにしたり、文字をデフォルメして簡素化しフォントを使用したことで地名等を検索しやすくしたり等、紙面と文字の大きさを考えて見やすくなるよう、よく配慮されている。 ・索引の活用方法が丁寧に説明されており、色分けをすることによって目的の用語を探しやすくしたり見やすくしたりする等、よく配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童に対して見やすく親しみやすい構成になっているとともに、資料活用能力を高め、主体的な学びの力を伸ばすことができるようよく工夫されている。 ・資料を基にした問題解決学習を促し、根拠をもって考えを表現する力が身に付くよう配慮がされており、岐阜地区の児童の実態によく合った内容となっている。

教 科
算 数

種 目
算 数

発行 者
2 東 書

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査で課題となった内容は、「今日の深い学び」として位置付けられ、図を大きくしたり考え方の手がかりを詳しく記述したりして十分配慮されている。また、今日的な課題をテーマとして、数学的な視点から統計資料を読解し、判断する力の伸長を図る内容が配置されている。 ・単位時間のまとめでは、問題解決における過程で働かせた数学的な見方・考え方を価値付けることで、系統的に学べるよう工夫されている。また、単元の出口において、各単元で働かせた見方・考え方に焦点を当てて振り返るページが位置付けられており、学び直しが容易にできるよう配慮されている。 ・児童の日常生活を中心に多方面から題材が収集され、特に単元の導入において児童の興味・関心を高める構成になっている。また、ノートの書き方や図のかき方などを具体的に例示することで、児童が自ら表現できるような工夫がされている。 ・単元の導入では、本単元に関わる既習の演算決定について振り返ることができるようになっている。そして、学年の発達段階に応じて、図を用いながら立式の根拠や計算の仕方を適切に説明している。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第 5・6 学年でコンピュータを使ったプログラミング体験ができるデジタルコンテンツが準備されている。また、児童のつまずきが多い学習内容を中心に、デジタルコンテンツが用意され、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に定着するよう配慮されている。 ・基礎的・基本的な知識及び技能が確実に定着するように、すべての単元で補充問題が設定されており、個の学習状況に合わせて活用できる構成・配列になっている。また、定期的に知識及び技能の復習ができるような問題が適切に設定されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・第 6 学年以外は分冊となっている。第 1 学年の第 1 分冊は、A 4 版でノートの機能(筆記しやすい紙質)があり、学習の準備にかかる時間を軽減できるよう工夫されている。 ・UDの観点から、文節改行や問題・まとめの枠囲みとマーク化、配色、文字の読みやすさなどが十分配慮されている。 ・巻頭では、目次で本単元に関わる前後の学習内容が示され、算数の学び方やノートの書き方についても丁寧に扱われている。巻末では、その教科書の単元に関わる既習の学び(知識及び技能)が一覧で分かりやすくまとめられている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の中で働かせた数学的な見方・考え方をまとめとして位置付けられている。さらに、既習の学習で得た学びとつなぐことで、学びを深められるような学習過程が実現できるように配慮されている。 ・単元末には、単元の学習で特に身に付けさせたい数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返り、その見方・考え方を働かせて日常の問題を解決したり、今後の学習の見通しをもたせたりして、学びを生かす力が育つような構成の工夫が見られる。

教 科
算 数

種 目
算 数

発 行 者
4 大 日 本

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査で課題となった内容に対する手立てが適切に講じられている。また、単位時間の適応問題や単元末の復習問題には、解き方がわからないときにフィードバックできるページ番号が書かれ、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けることができるようによく工夫されている。 ・各単元の主要な時間を「じっくり深く学ぼう!」と位置付け、側注に学習の進め方を示すことで、考え方を比較検討したり、新しい問題を発展的に見出したりできるようによく配慮されている。ページをめくらないと解決方法が見えないつくりになっており、学習を進める上での工夫がある。 ・導入問題では、児童が疑問や課題を見出し、主体的に学習に取り組めるような題材の工夫がされている。また、「算数お仕事インタビュー」が位置付けられ、児童の算数への興味・関心を一層高められるようによく工夫されている。 ・演算決定において、低学年からテープ図や数直線図が活用され、前学年とのつながりが明示されている。第 4 学年以上には、巻末にそれぞれの学年で必要な数直線図のかき方が示され、配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年に「プログラミングにちょうせん!」が位置付けられ、算数の学習の理解を深めながら、プログラミング的思考が育まれるようによく工夫されている。また、デジタルコンテンツが豊富に用意され、学習の理解を深めたり、技能を定着させたりできるように配慮されている。 ・確実に解く問題番号には水色の印を付け、習熟度に応じて問題に取り組めるよう適切に工夫されている。さらに習熟度が高い児童には「チャレンジ問題」が用意され、児童が主体的に取り組むことができるように配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で合冊になっているため、該当学年の学習の振り返りがしやすいように工夫されている。 ・インデックスで領域別に色分けされており、どの領域を学習しているのかが分かり、学習を進める上での配慮がされている。 ・第 2 学年以上の巻頭には算数の学び方やノートの書き方、巻末には既習事項のまとめが位置付いている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を基本とした内容・構成となっており、児童の主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力が育成できるよう十分配慮されている。 ・学習を授業の中で終わらせず、家庭や他教科でも学びを生かすことができるよう工夫されている。また、系統的・段階的に図による表現を多く取り入れ、数直線図などを用いた演算決定の学習が繰り返し行えるよう配慮されている。

教 科
算 数

種 目
算 数

発行者
11学 図

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領(平成29年告示)に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査での課題について、学び方を学ぶという側面が意識され、主体的な学び、対話的な学び、深い学びという3つの学び方について例を挙げ、児童にイメージしやすいように工夫されている。また、単元末に学習の振り返りや学びを活用する問題が準備され、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けられるように工夫されている。 ・単元の導入では、「?を発見」が位置付けられ、その単元で学んでいく疑問について、漫画形式で分かりやすく説明されており、既習内容と関連付けながら児童が主体的に学んでいけるよう工夫されている。また、数学的な見方・考え方に焦点を当て、学年を通して繰り返し用いてきた数学的な見方・考え方が位置付けられている。 ・「なるほど算数」では興味・関心を高め、探究的に学習できる問題が用意されている。単元の確認問題や発展問題では確実に知識及び技能が身に付くよう問題が精選されている。また、「深めよう」で学んだことを生活へつなげられるように構成が工夫されている。 ・演算決定において、低学年はドット図や絵、中学年はテープ図に数直線図、4マス関係表、高学年は2本の数直線と4マス関係表を使って考えるなど、系統的に自ら学びを深める学習ができるよう適切に工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年にプログラミング教育の内容が位置付けられ、筋道立てて考え、論理的思考・プログラミングの思考を身に付けることができるようによく工夫されている。また、デジタルコンテンツも用意されている。 ・巻末には、「ほじゅう問題」が設定されており、繰り返しの学習ができるように配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年のみ合冊(別冊:中学校へのかけ橋)で、振り返りがしやすくなっている。 ・色覚特性にも配慮された配色であったり、グラフでは色だけでなく模様を入れたりして比較しやすいようにするなど、様々な児童に理解できるように工夫されている。 ・巻末に索引が五十音順に掲載され、用語や記号等の振り返りが容易にできるように工夫されている。また、第5・6学年においては、英語での表記もある。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に考える力が身に付くような内容となっており、資質・能力の育成、数学的活動の実現、数学的な見方・考え方の育成をねらいとして構成されている。 ・本単元、特設ページ、補充問題の3つの部分で構成されており、学習内容の系統性を重視し、基礎的・基本的な知識及び技能や数学的な見方・考え方を身に付け、児童一人一人に確かな学力が定着できるよう構成されている。

教 科
算 数

種 目
算 数

発 行 者
17教 出

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に 示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査で課題となった内容について取り上げ、考える際のヒントを掲載することで、知識及び技能の習得を図る工夫がされている。また、単元末の問題では、知識を振り返る問題と、技能を確かめる問題の 2 部で構成され、適切な問題量である。 ・問題発見や問題解決の過程を、子どもの問いの連続によって展開する構成になっている。また、単元で学んだ見方・考え方について振り返ることができる「4 コマ漫画」も掲載されている。 ・単元の導入では、身近な題材を取り扱い、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしている。また、単元の出口では、学習したことを日常場面に活用し、単元での学びを実感できるように工夫されている。 ・演算決定では、第 3 学年から 2 本の数直線（方眼上に記入）を用いて指導するなど系統性が図られている。テープ図や数直線図等を使って考えたり、説明したりする力が、段階的に育まれるように、第 2・3 学年では準単元を設けている。その後も、「学びの手引き」として掲載することで、繰り返し立ち返り、定着するような構成になっている。
2 岐阜県教育振興 基本計画（平成 31 年 3 月策定）に示された 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育については、第 5 学年のみで取り扱われている。児童が比較的簡単に操作できるように、独自に開発されたプログラミング教材である。正多角形の作図において、コンピュータで正確な繰り返し作業を行ったり、作業の一部を変えて別の正多角形を作図したりするなど、試行錯誤を通して、プログラミング的思考の育成を図っている。 ・教科書からデジタルコンテンツにリンクし、動的な表現によって理解を深めたり、反復練習によって習熟を図ったりするなど、ICT の特性を生かした学習ができるようによく工夫されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1・5・6 学年は、合冊となっており、学年内の振り返りができるようにしている。教科書用紙として、最軽量である現行版の紙をさらに改良し、軽い紙が使用されている。 ・UD デジタル教科書体を採用することで、タブレットや電子黒板でも見やすくなるように配慮している。 ・全学年の教科書の巻末に、算数用語の索引がある。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査等の結果をふまえ、つまずきやすいポイントを意識しながら学習できるようにすることで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着が図れるように工夫されている。 ・身近な題材から目的意識をもって数学的活動に取り組む単元の導入、日常場面に活用して学んだことを実感する単元末で、単元のまとめで学びを深める構成になっている。また、既習内容を「学びのマップ」や「学びの手引き」等で巻末にまとめ、系統性を意識して学べるようにし、学年を超えた学び直しができるようにしている。

教科
算数

種目
算数

発行者
61啓林館

調査項目	意見
1 学習指導要領(平成29年告示)に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査で課題となった内容については、学年を越えて繰り返し扱う工夫がされている。また、単元ごとに新しい学習の準備問題や、学習後の類似問題、発展的な問題があるなど、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けられるように工夫されている。 ・問題から課題意識をもつ過程や課題を解決していくヒントが示されて、言葉や図、式、数直線図などの相互の関連も分かりやすく示されている。単位時間の流れの工夫や多様な考え方を取り入れていることから、思考力・表現力・判断力を育成する構成になっている。 ・統計の学習では、全学年で統計的な問題解決のプロセスを意識した構成になっており、興味・関心を高め、統計的な問題解決力を育成することができるように工夫されている。 ・演算決定については、ブロック操作やテープ図、線分図、数直線図、関係図を6年間で段階的・発展的に適切に扱い、思考力・判断力・表現力の育成につながる構成となっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第5・6学年を中心にプログラミング的思考を育成する学習内容を取り入れている。巻末の付録を活用してプログラミングの疑似体験をしたり、ICTを利用して実際にプログラミングをしたりすることができるように配慮されている。 ・学習の参考になるデジタルコンテンツ(準備問題やコンパスの使い方の動画、プログラミング体験ソフトなど)を閲覧することができ、授業や家庭学習で活用することができる。個のニーズに対応した適切な内容と適度な問題量である。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・第1・5・6学年が合冊となっており、振り返りがしやすい。 ・文字は国語科との関連も考慮して、UDフォント(読みやすい肉厚の文字)が使われている。 ・見分けが困難な配色を避け、色で判断するような問題は取り上げていない。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・問題から課題意識をもつ過程や課題を解決していくヒントや、言葉や図、式、数直線図が関連付けて示されており、数学的な見方・考え方を働かせ、学びを深められる構成になっている。 ・演算決定に関わる具体的な操作や数量関係を捉えるための関係図などが系統的に扱われている。

教科
算数

種目
算数

発行者
116日 文

調査項目	意見
<p>1 学習指導要領(平成29年告示)に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の確認から新しい単元を学習する構成となっている。全国学力・学習状況調査の結果をふまえ、単元末につまずきや誤答について考える場が適切に設定されていたり、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるように、基本的な問題、補充的な問題などが位置付いたりしている。 問題解決の学習過程の手順が示されており、思考力・表現力が育つような工夫がされている。数学的な見方・考え方を働かせる手がかりとなるような具体的な視点が示され、思考・表現・判断する活動では、言語活動の充実にも配慮されている。 実際の生活場面から問題を見つけ、他教科とつなげて算数の学びを生かす内容、複数の単元を組み合わせた応用的・発展的な内容、数学的なおもしろさを実感できる内容なども設定され、算数の学びを広げることができる。 演算決定においては、言語活動を適切に配置し、立式の根拠が丁寧に複数表記されている。演算決定の場でテープ図や数直線図が第2学年より系統的に取り扱われている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> プログラミング教育は、第5学年「正多角形と円」の単元の中で「正多角形をかくプログラム」を考える学習が組みこまれている。また、デジタルコンテンツも用意されている。 知識及び技能を定着させるため、単元の中で基礎的・基本的な内容が十分に取り上げられており、つまずきの克服や繰り返しの学習に重点が置かれている。また、巻末には、復習問題、見方・考え方を広げ深める問題、活用や探究につながる内容が設定されており、習熟の程度に応じた学習ができるよう十分配慮がされている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 軽くて裏移りの少ない用紙を使用している。第6学年のみ合冊となっており、学年内の振り返りができる。 字体は、教科書体とゴシック体(重要語句)を用い、行間をあけてゆつたりと読みやすい構成となっている。 巻末に算数用語の索引がある。新しく学習する記号も含まれている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容を想起する学習の足場をそろえたり、基礎的・基本的な問題を位置付けたりすることで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、個に応じた学びができるような構成となっている。 問題解決の過程の手順が示されており、自ら課題に取り組み、数学的な見方・考え方を働かせ、思考力・表現力・判断力が育つような工夫がされている。

教 科
理 科

種 目
理 科

発行者
2 東 書

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・「理科の見方・考え方」が巻頭、巻末にまとめられているだけでなく、単元の中に何度も「理科のミカタ」として位置付けられており、学び方のポイントが具体的に示されている。また、単元のはじめと終わりで同じ問いに答える場が設けられており、自分の学びの成長を実感することで、学びに向かう力・人間性の涵養に十分つながるようになっている。 ・「理科のひろば」には、学習した内容を専門的に扱う職業に就いている人の話が記述されており、より理科の学習と日常生活とがつながるとともに、将来の進路選択の参考にもなっている。 ・追究の流れが明確になっており、考える視点とともに対話の流れの例が示されており、児童が議論する際、とても参考になる。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第 5 学年「流れる水のはたらき」の学習で、岐阜県の長良川の「山の中」「平地へ流れ出たあたり」「平地」の川の様子が、航空写真と共に見開きで大きく扱われている。さらに、大雨による長良川の変化の様子が 3 枚の写真で扱われている。また、関市の武儀川の川岸がけずられるのを防ぐブロックが紹介されている。第 3 学年「風やゴムで動かそう」の導入部分で、不破郡の風になびく鯉のぼりの写真が扱われている。 ・プログラミングを利用した人感センサーの仕組みが例示され、暮らしの中のプログラミングが紹介されている。また、プログラミングを体験できるソフトが用意されている。 ・第 4 学年「動物のからだと運動」の単元において巻頭にオリンピックで日本人選手と外国人選手が競い合う場面が提示されたり、パラリンピックの選手が筋肉を動かすために練習で取り組んでいることが紹介されたりして、多文化共生や特別支援教育への配慮が十分にされている。(掲載資料数 10 ページ分)
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・A 4 版サイズで、豊富な情報量が確保され、厚み、重さも適切である。 ・美しい写真、図版を数多く用いられ、項目や内容も学年に応じて見やすく統一されている。文字の大きさや行間だけでなく、フォントや色など、多岐にわたってユニバーサルデザインに大変配慮されている。 ・言語活動や器具操作、発展資料など、巻末資料が豊富で、段組みなどを活用した大変見やすい構成となっている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が理科学習の意義を感じ、学年間の系統性や発展性を実感しながら主体的に学べるよう、問題解決の手順や資料が豊かに配置されており、非常に高い学習効果が期待できる。 ・ふるさと岐阜に関する資料が豊富であると同時に、プログラミング教育を意図した編集がなされており、県の教育振興基本計画に沿った、非常に魅力的な内容となっている。 ・文字フォントや色調など、ユニバーサルデザインへの配慮が丁寧であるとともに、明確な項目整理や段組みの活用など、読みやすい工夫が、非常に効果的になされている。

様式2

教 科
理 科

種 目
理 科

発行者
4大日本

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・「理科の見方・考え方」については、学習内容ごとに問題や本文で記述されたり、児童の発言として記述されたりしているが、端的な表現が多い。 ・学習した内容が深められるように「サイエンスワールド」や「りかのたまてばこ」にまとめられている。 ・考察の場面については、児童の会話の様子が描かれている点は良いが、話し合いの順序が分かりづらい部分もあるため、児童が教科書を参考にして思考していく手掛かりになりにくいところもある。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「土地のつくりと変化」の学習で、噴火した御嶽山の写真が扱われている。 ・各学年にプログラミングを意識した学習場面が設定されている。第6学年では、街灯を例に、暗いときに反応するセンサーの簡単なプログラミングの方法とともにその応用編も示され、発展的に学習できるようになっている。 ・第4学年「雨水のゆくえ」、第6学年「体のつくりとはたらき」の単元において、外国人の児童が日本人の児童と一緒に活動している写真が掲載され、多文化共生に配慮されている。また、車いすの児童が自然に活動している様子が多く掲載されており、障がい児への理解を推進しようとしている。(掲載資料数11ページ分)
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版で、横方向が広くとってあり見やすいが、重量感がある。厚みは適当である。 ・大きな写真が多く用いられている。ユニバーサルデザイン書体が用いられ、学年に応じて、文字の大きさや行間も配慮されている。 ・巻末資料は、具体例での説明が多く、全体としてもすっきりして読みやすいものとなっている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容が追究できるよう「りかのたまてばこ」では、身近な生活の中で、学習したことと関係のある資料が掲載されている。 ・外国人児童が日本人児童と共に活動している様子を掲載し、多文化共生の視点を配慮している。 ・ユニバーサルデザイン書体の使用、文章の文節改行等が配慮されている。

教 科
理 科

種 目
理 科

発 行 者
11学 図

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・「理科の見方・考え方」については、巻頭に各学年で大切にしたい学び方のポイントとして位置付けられている。実験器具の扱いでは、一連の作業が細かなステップで記述され、さらに児童目線での写真も掲載され、より分かりやすくなるよう十分配慮されている。振り返りの場面で、単元のはじめに示した資質・能力が学習を通して身に付いたか、新たな気付きも含めて振り返ることができるようになっている。 ・「資料」には歴史に関わることや実生活に関わること、学習した内容を深めることなどがまとめられている。特に防災と関わらせた記述があり、自然と生活をつなげて考えられる内容となっている。 ・考察では考える視点が書かれており、児童がその視点を参考にし、考えを深めていけるようになっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第 6 学年「地震による大地の変化」で、濃尾地震が紹介され、根尾谷断層、断層観察館の写真が扱われている。 ・水溶液の見分け方についての考えを、フローチャートを使うことで、プログラミング的思考ができるよう十分に工夫されている。また、プログラミングの作成方法がより分かりやすく例示され、吹き出しの発言をヒントにしながらか学習を進められるようになっている。また、プログラミングを体験できるソフトが用意されている。 ・仲間と活動する写真やイラストは男女バランスよく掲載されており、協力しながら学びを高め合えるように配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B 版で、横方向が広くとってあり見やすいが、重量感がある。厚みは適当である。 ・美しい写真や工夫された図版が用いられ、文字の大きさ、色の種類が学年に応じて適切に配慮されている。 ・巻末資料にある各種実験器具の使い方が詳細に記載されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・大切にしたい学び方がポイントとして示され、問題解決の能力、思考力・判断力、表現力を育むように工夫されている。 ・学習したことと実生活や防災との関連を資料として示し、自然と生活をつなげて考えられるように工夫されている。 ・写真や図版が工夫され、文字の大きさや色遣いが学年に応じて配慮され、使いやすいものになっている。

様式 2

教 科
理 科

種 目
理 科

発 行 者
17教 出

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・話形を紹介することにより、表現力を高める効果があると同時に、その話形を使うことで自然と「理科の見方・考え方」が鍛えられるようになっている。 ・「資料」には学習内容と関連した身の回りの事象を紹介し、学びを深めることができるようになっている。 ・考察については「結果から考えよう」に児童が考える視点が明記され、予想と関わらせながら考察している児童の様子が示されており、学ぶ手がかりとなっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第 5 学年「流れる水と土地」の学習で、水の勢いを弱めて、川岸がけずられるのを防ぐブロックの写真を取り扱っている。長良川の山地、平地の写真を 2 枚取り扱っている。第 6 学年「土地のつくり」の学習で濃尾地震を紹介し、根尾谷断層の写真が 2 枚、断層資料館の写真が 1 枚扱われている。 ・アニメーションや信号の点滅機能が例示され、身近なものに関連付けたプログラミングが掲載されている。また、体験できる教材が紹介されている。 ・どの学年の教科書にも外国人の児童や車いすの児童が活動している様子が掲載され、様々な人々と共に生活し、適切に行動できるように特に配慮されている。(掲載資料数 13 ページ分)
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・A 4 変形版で、横方向が広くとられており、情報量が多い。厚みは適当である。 ・図版が数多く用いられ、文字の大きさや色、フォントも学年に応じて、配慮されている。 ・巻末資料に関心を高めるトピックスがまとめられている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容ごとに、児童による問題解決に向けた対話的な記述が示されており、見通しをもって学習を進め、理科の見方・考え方を育むことができるように配慮されている。 ・問題解決から、それらと日常との関連のある事物・現象や資料が学習内容ごとに掲載され、学びと生活が結びつけられるような内容となっている。 ・学年に応じて、復習できる内容や図版、文字の大きさ等配慮されている。

様式 2

教 科
理 科

種 目
理 科

発 行 者
6 1 啓林館

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・「理科の見方・考え方」については、巻末のページに学び方のポイントとして位置付けられ、整理して記述がされている。また、単元毎にも問いかけや児童の発言の中に記述されている。振り返りの場面において、学ぶ前と学んだ後で自分の成長を確認することができ、学びに向かう力・人間性の涵養につながる配慮がされている。 ・「つなげよう」「これまでの学習をつなげよう」では、学習した内容が児童にとって身近な生活とどうつながっているかがまとめられている。 ・考察の場面では、思考の視点と手掛かりになるようなことがわかりやすく示されており、児童が考える手助けとなっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第 6 学年「大地のつくりと変化」の学習で、御嶽山の噴火の写真が扱われている。また、第 5 学年「雲と天気の変化」の学習で、雪の多い地域の暮らしとして、白川村が紹介されている。 ・人感センサーをはじめ、日常で使われているプログラミングの例が示されている。また、パソコンを利用したプログラミング以外に、シートシールを使うことで、誰もがより簡単にプログラミングを考えることができるよう工夫されている。さらに、プログラミングが体験できるようなソフトが十分に用意されている。 ・第 3 学年「光のせいしつ」「音のせいしつ」の単元では、外国人の児童が日本人の児童と共に活動している写真が掲載されている。また、車いすの児童が活動しているイラストを掲載し、障がい者に特に配慮されている。(掲載資料数 9 ページ分)
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B 版で、広げた時に見やすくなっている。厚み、重さも適切である。 ・写真、図版が多く用いられ、文字の大きさやフォントだけでなく、行間、余白など、多岐にわたって、ユニバーサルデザインによく配慮されている。 ・他教科の学習との関連や科学者の紹介など、巻末資料の内容が充実しており、児童が主体的に活用できるような構成となっている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう力や問題解決の力の育成に向け、単元のはじめと終わりに同じ問題が記載されるなど、主体的に学ぶ態度や見方・考え方の成長を確認する場となるよう配慮されている。 ・パソコンがなくてもプログラミング学習ができる補助資料や車いす、外国人のイラストを使用するなど様々な配慮がある。 ・ユニバーサルデザインへの配慮がなされ、見やすい校正がなされているとともに、二次元バーコードの掲載により、関心意欲を高めたり、基本的な技能の定着を図ったりするためのコンテンツが容易に利用できるよう工夫されている。

様式 2

教科
生活

種目
生活

発行者
2東書

調査項目	着眼点
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 安全・防災にかかわる内容が適所に位置付いており、安全面に対する配慮が十分になされている。上下巻とも「かつどうべんりてちょう」で、生活上必要なスキルが分かりやすく表記されている。活動内容に応じ、まとめたり伝えたりする活動、調べる活動などの例示があり、環境設定のイメージや児童の表現の仕方もよくわかる構成が十分工夫されている。活動への見通しが持てるよう、問題解決的な投げかけの言葉があり、さらに発展的な内容のつばやきを挿絵の吹き出しに位置づけ生活化に向けた配慮がある。 スタートカリキュラムとして、保護者への啓発も含めた内容が十分に取り上げられており、学校生活への適応の配慮がなされている。さらに下の教科書では、他教科との連携が多く示されている。 植物の成長や季節の変化をとらえる学習では、前との比較がしやすい写真やイラスト（同じ校庭、同じ公園）の掲示が適切であり、気付きの質の高まりにつながる構成となっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 昔遊びや日本の伝統的な行事については、季節ごとに取り扱っており、日本の伝統や文化に関する教育の充実に配慮されている。 タブレットやカメラを使った記録や観察例、電話、FAX、電子メールの使い方、電子黒板を使った発表のさせ方などが取り上げられおり、有効な活用例が十分ある。また、保護者向けには、ウェブ上に関連するコンテンツがあることを「D マーク」で示している。 幼児から高齢者まで、身近な地域の人と関わる活動が何度も仕組まれており、多様な人と触れ合うことができる十分な内容となっている。家庭環境や過去の出来事に触れる内容では、児童の多様な家庭環境に配慮している。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭と巻末の特別ページは紙を厚くして丈夫にしている。他ページは自社開発した軽量の専用用紙が用いられ、低学年児童の持ち運びに配慮されている。(上巻 1 2 3 ページ：下巻 1 2 9 ページ) 字形の正しさにも配慮された教育用のユニバーサルデザインフォントを使用したり、大判の紙面を有効に使ったダイナミックな写真で、児童の興味を膨らませたりできる工夫が十分にある。 植物の成長順序を捉えることができる変型判ページや取り外せる実物大のポケット図鑑などは、観察する際に大変適している。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域に向けたメッセージが記載され、幼児教育からのスムーズなスタートカリキュラムの内容になっている。 育成すべき資質・能力が挿絵や写真、吹き出しで示されていたり、他教科等との関連的な指導のヒントが掲載されていたりして横断的な教育課程の編成によく配慮されている。 児童の発達の段階や特性を踏まえて、関わる対象や、思いや願いの質、育成する資質・能力などが上巻から下巻へ段階的に高まるよう単元が構成されていることから、学力の向上や定着を図ることができる。 挿絵(町探検の地図の変化)や写真(実物大の野菜、わきめ、め)、単元毎の図鑑、実物大のポケット図鑑、アメリカザリガニの飼い方等、低学年児童の活動や思考に合わせた、児童が活用しやすい教科書となっている。

様式 2

教科
生活

種目
生活

発行者
4大日本

調査項目	着眼点
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の活動や思考を促すヒント、安全に関する配慮事項など適切に投げかけている。右端コラムに活動に関する情報（気づきが深まったり広がったりするような情報）を十分に掲載している。また、見開きを通して、子どもから出てくるであろう言葉を表示しており、具体的な活動のイメージ・見通しをもつことができる。 ・巻頭に、スタートカリキュラムのページを設け、学校生活に見通しをもたせたり、安心できる環境をイメージさせたり、幼児教育との接続が意図されている。また、他教科との関連（国語・算数・体育）が効果的に図られており、活用できる場面にはマークが付いている。中学年以降の学習の素地（3年生の理科につながるおもちゃ作りなど）が位置付いている。 ・教師が教える場面と児童自身が考える場面のバランスが配慮され、教師の適切な支援から深い学びに導くことができるように考慮されている。児童が主体的に対象物を見付けたり、気付いたりしたことを表現するために「たんけんカメラ」などを準備し、意欲を高めている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化（昔遊びや日本固有の風物詩など）とともに、海外の文化にも興味をもてるように配慮されている。現代社会における多様な家族・家庭への配慮が写真などで見られる。 ・デジタル教科書があり、主体的・対話的に深い学びから、より充実させるために動画の活用で授業をサポートすることができる。ホームページ上に「たのしいせいかつウェブ」を用意しており、対応するページにマークが掲載されている。（無料のコンテンツ）パソコンや写真を活用し振り返ったり発表したりする例示がある。教師用指導書の中に授業スタートブックがあり、授業の手助けになる。（活動の展開・支援・評価のポイントなど） ・家庭や地域の協力で、活動が深まる場面では、その具体的場面を示している。（交通安全、自然災害、通学路など）学校でのことを家庭で報告する場面を適宜設け、家庭との連携を図ることができるように配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数（上巻：129 ページ 下巻：137 ページ）に対して、総重量がたいへん軽く、持ち運びしやすい。 ・ユニバーサルデザインフォント使用、教科書体採用で見やすく読みやすく配慮されている。色覚の特性によらず情報が読み取れるよう配色に工夫が見られる。文章の分ち書きや読みやすい位置での改行がされている。 ・巻末に「がくしゅうどうぐばこ」が掲載されており、児童の活動を支えるための多岐にわたる資料を十分に掲載している。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が生活科における具体的な活動のイメージ・見通しをもつことができ、活動や思考を促すヒント、安全に関する配慮事項などが適宜示されている。幼児教育や他学年・他教科との関連も重視されている。また、現代社会における多様な家族や文化などにも対応している。

教 科
生 活

種 目
生 活

発 行 者
11 学 図

調 査 項 目	着 眼 点
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 活動への見通しや願いをもち、「子どもが自己決定できる」ことを大切にしている。教師が指導すべき場を、自己決定の場と明確に分け「ものしりのうと」などで示している。また、「見つける・比べる・たとえる」「ためす・見通す・工夫する」ことを意識して活動に当たれるように構成されている。単元の終わりでは、振り返り場面の充実が図られており、多様な表現をもとに、これまで学んだことや自分の成長に気付けるように配慮されている。 幼児教育との接続を意図した導入ページや入門期単元を設け、スタートカリキュラムとして明確に位置づけられており、学校生活への適応に配慮がなされている。 対話の場面を大切に扱っており、児童同士の対話のヒントになるような場面を設定し、児童が対話しながら変容していく姿が分かりやすい構成となっている。巻末の「学び方図鑑」では、発信だけでなくどのように聞くかも示しており、児童の対話活動について配慮されている。また、4人のキャラクターのつぶやきや教科書に載っている投げかけで児童の気付きの質を高めようと十分配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域の祭りや行事に参加するなどの具体例を示したり、伝統的な遊びを高齢者に教えてもらう活動を取り入れたりすることで、自分の地域に目を向け、自分の地域を生かした活動に結び付くように配慮されている。 情報収集の場面や発信場面においては、郵便、電話、インターネットなどの情報手段が例示され、情報教育の素地となるよう配慮されている。さし絵でもデジタルカメラやタブレット、電子黒板などの ICT 機器を取り扱っている。また、「〇〇の仕方」で構成された二次元コードも利用できる。 家庭との連携を図ることができるようなイラストや吹き出しが位置づいている。また、教科書の登場人物について、男女の比率に偏りがないようにしている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 記号やマーク表示をできるだけおさえ、児童の発達段階に即した、シンプルで見やすい紙面であるよう配慮されている。 (上巻 124 ページ：下巻 120 ページ) 多様な色覚をもつ子どもに配慮し、カラーユニバーサルの方え方により、見やすくわかりやすい色づかいが十分に工夫されている。 本文中に、「ものしりのうと」として活動の補助となるページを掲載している。また、上下巻末には、学び方や安全面に関わる「学び方図かん」を掲載し、児童が自分で活動を広げていけるよう配慮されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムの内容が明確で、幼児教育とのスムーズな接続に配慮されている。 児童が対話しながら変容していく姿が分かりやすく示されていること、キャラクターによるなげかけ、多様な表現活動の例示など、十分、気付きの質を高め、学力の定着を図ることができる。 十分にユニバーサルデザインに配慮し、シンプルで見やすい紙面になっている。

様式 2

教科
生活

種目
生活

発行者
17教出

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 安全に配慮した「やくそく」が定位置に位置付いている。単元名と活動のねらいが児童に分かる言葉で示され、つきたい6つの力も明示されている。学びが広がるような資料の提示が適切にされている。「もしも」として児童の興味が広がる投げかけもされている。 「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」と入学当初の児童の姿を具体的な場面でつなぎ、合科的、関連的な指導や弾力的な時間割を例示している。また、巻末には「学びのポケット」があり、他教科との関連が位置付けられ、培った力が相互に発揮できるように適切に構成されている。さらに、「社会科へのまど」、「理科へのまど」が提示され、中学年への接続が意識されている。 単元末に「まんぞくはしご」を位置付け、主体的・対話的で深い学びにつながる、自分の学びを振り返って書き込む枠も位置付いている。比べる、試す、予想する、工夫するといった思考を伴う学習活動を豊富に設定し、一つ一つの気付きが関連づけられた気付きへと質的に高まるに十分な構成となっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 2年生において、内容を深めながら、町探検が繰り返し位置付けられているので、地域への愛着へとつながる。また、季節ごとに様々な地域につながる写真が示されているので、自分の地域を思い起こして話題にし、学びにつなげることができる。 飼育・栽培単元、巻末の道具の使い方に二次元コードが提示されている。また、多様な学び方に配慮し、タブレット等の活用についても提示されている。さらに、保護者向けに「学びリンク」(ウェブサイト)を位置付けている。 単元末に「つたえたいな」として家庭へのつながりを位置付けている。家族を扱う単元で、多様な家族の形や、家庭内の役割分担について十分配慮されている。挿絵等に性別・人種・年齢層・障がい者など幅広く位置付けられ、適切に接することができるよう配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさ、厚さは児童に持ちやすい適切なものである。(上巻136ページ:下巻136ページ) 全ての児童が見やすく、読みやすくなるように、カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルフォントも使用している。 同項目が同じ位置に位置付き、児童が活用しやすい。また、図鑑的要素は巻末ではなく、各単元に適切に位置付いている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領に示された3つの柱を受けて、「育てる6つの力」が明示され、児童・保護者・教師に分かりやすく、どんな力を付けていくのが提示されている。 スタートカリキュラム、他教科との関連、中学年への接続について、具体的に提示され、活用しやすい構成になっている。 気付きを確かにする「振り返り」に導く手立てが複数提示され、さらに生活化や発展につながる視点も提示されている。

様式 2

教 科
生 活

種 目
生 活

発行者
38光村

調 査 項 目	着 眼 点
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 安全面は、巻末の「ひろがるせいかつじてん」において、歩く時、避難の時、不審者対応、道具の扱い等が示されている。「ホップ（導入）・ステップ（展開）・ジャンプ（振り返り）」の3段階構成で、見通しをもち、学びを深めることができる。「ステップ」では、試行錯誤や体験、表現活動の例が示され、学びの質の高まりにつながる。「どうすれば」「もっとやってみよう」「きせつのおくりもの」「！（安全）」の窓が、発展につながる。活動のヒントや気づかせたいポイント等が示され、主体的に活動し、思考を深めるように十分に工夫されている。 上巻冒頭にスタートカリキュラムがあり、学校生活への適応に配慮がされている。磁石や「ながよしの木」で理科、地図や「春のまち」から「冬のまち」で、社会科との関連が意識されている。 シールが用意され、単元末に学んだことを書くことで、活動を振り返り、できるようになったことを十分に自覚することができる。貼りかえ可能なため、最後にシールをまとめて貼ることで、1年間の学びを振り返ることができる。表現物は、児童の作品が提示され、写真より図版が多い。気づきの質が高まっている児童の発言例を示しているが、板書等の提示はない。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 47 都道府県の伝統的行事が紹介され、ふるさとへの誇りをもち、身近な伝統文化に目を向けるきっかけとなるよう十分に配慮されている。町探検で登場する人物が野菜を育てる単元でアドバイザーとして登場し、地域との連携が1年を通して考えられている。通学路で安全を守る人等、地域との関わりを深める活動を示している。 季節・交通安全・道具についての二次元コードが随所であり、写真や動画等の資料を見ることができる。実物投影機や、デジタルカメラの使用の効果を十分に示している。 家での役割を扱う単元では、児童の意識の流れに沿った単元構成で、多様な家族の形や、役割の分担について配慮がされている。下巻では、身近な幼児や高齢者、車椅子の人との交流があり、多様な人々との関わりを示している。また、車椅子の児童や、他国籍の児童がともに学ぶ姿が、挿絵で示されている。裏表紙には、保護者向けに生活科の意義が掲載されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 上巻のほうがやや分厚いが、大きさ、厚さは、適量である。(上巻148ページ：下巻108ページ) UD書体を採用し、大きさ、書体、配色も配慮しているが、手書き風活字は、区別が難しい。イラストは、児童の活動意欲を引き出せるよう配慮し、写真や図の量などは、定量と考えられる。 適切な学習方法を見つけられるように、巻末に「ひろがるせいかつじてん」を掲載している。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> 「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成されており、学習のスタートからゴールまで児童自身が見通すことができる。 スタートカリキュラムがあり、学校生活への適応に配慮がされている。社会科・理科・総合的な学習の時間等、中学年以降の学習に有効に結び付けていけるよう工夫されている。 シールに記録するという言語活動が取り入れられている。学びを確認することができ、シールを最後にまとめて貼ることで、一年間で学んだことや、成長を確認できるような工夫がされている。

様式 2

教 科
生 活

種 目
生 活

発行者
61 啓林館

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道具の使い方や危険な生き物に対する注意など、安全への配慮が十分にされている。また、「できるかな できたかな？」のコーナーでは、自分の学びを振り返り、自らの成長や学びの深まりを実感できるようによく工夫されている。さらに、教師の言葉かけや板書の例が分かりやすく示されており経験の浅い教師でも授業が進めやすいように十分に配慮されている。 ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて、安心して学校生活が始められるように「すたあとぶっく」の単元が設定されている。また、理科や社会科学習における問題解決の基礎が養われるように工夫されている。 ・ 見付ける、比べる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を写真、イラスト、吹き出しなどで適切に例示することにより学びの質が高まる学習になるよう工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のお年寄り、農家の人、町で働く人、見守り隊の人など児童の生活を支えている人たちの例が示されている。 ・ 学習内容に応じて、デジタルカメラ、タブレット端末、電子黒板、インターネットなど ICT を活用する学習活動が適切に示されている。 ・ 家庭との連携が必要な内容に、保護者の方へのメッセージを設け、連携しやすいように十分工夫されている。また、人権的な配慮面において、挿絵等に性別・人種・障がい者など幅広く位置付けられている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 つの学習活動は見開きが基本で構成されており、教科書の大きさとしては適度である。(上巻 132 ページ：下巻 128 ページ) ・ 学習内容が判別しやすい配色・デザインを用いている。また、「小単元名」「本文」「カード例」などを適切に配置し位置を固定するなど読みやすくしている。 ・ 巻末資料の「がくしゅうずかん」では、「友達と考えを深めよう」のコーナーで話し合いの方法が具体的に示されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「わくわく(みつける)」「いきいき(かつどう)」「ぐんぐん(伝え合い)」としての学びの段階がわかりやすく示されている。また、「できるかな できたかな？」のコーナーでは、身に付いた力を確かめる場を、「ひろがるきちもち」では家庭や日常に繋がる投げかけがされており、学びの質を高める内容構成となっている。

様式 2

教科
生活

種目
生活

発行者
116日文

調査項目	着眼点
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 安全面への配慮として、上巻では、スタートカリキュラムの中に、下巻では、「ちえとわざのたからばこ」の中に、用具の使い方や安全・健康に関する内容がある。また、アレルギーへの配慮がある。育成すべき資質・能力の三つの柱に基づいた「学習のめあて」をわかりやすい言葉で説明してあり、その時間に育成すべき力がより明確になっている。学習活動を振り返る・つなげるコーナーを設け、「学びに向かう力・人間性等」の涵養に向けての視点が適切に示されている。 上巻の巻頭に、スタートカリキュラムを特設し、幼児期に学んだことを生かして、自信をもって学校生活がおくれるような配慮がある。 板書を中心に多様な表現方法の例示や話し合いの場面などの具体例が示され、子どもが主体的・対話的に考えていける構成になっている。発達の段階に応じた「考えるための技法」を活用して学びを深めることができる構成となっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 伝統遊びや地域文化を体験できる構成がある。また、国際理解の立場にたって、他国由来の祭りが少し紹介されている。 「D」マークのあるページは、ホームページから参考資料が見られるようになっており、より効果的な授業をするための配慮がされている。 2年生においてもスタートカリキュラム「2ねんせいのはじまるよ」が新設されており、1年から2年へのスムーズな適応が配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> AB判で、上巻 143 ページ、280 g。下巻 135 ページ、266 g。 教科書体に準じた字体で、漢字にふりがながついている。現行の教科書より 15%軽量化。「やまおり」加工で、植物の栽培暦が見られる仕組みになっており、生長の過程を十分確認することができる。 巻末の「ちえとわざのたからばこ」の「ほうきのはきかた」の写真に間違いがある。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> 「無理なく、質の高い授業」という編集コンセプトの通り、シンプルなレイアウトで、誰でもわかりやすいのと、「学習のめあて」の記載により、子どもは課題がわかりやすく、教師にとっては、評価の基準がよりわかりやすくなっている。 育成すべき資質・能力を小单元ごとにわかりやすく例示し、児童と教師がともにめあてとして考えながら学習活動に取り組むことで主体的・対話的な活動を必然的に行うことができ、学びが深まるような構成となっている。 2年間にわたって、取り扱う動物や植物への関わりの事例は、生命の尊さを実感できる内容となっている。 紙の選択による軽量化や、点字の印刷などの工夫がされている。